

宮・庄川森林計画区

第五次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成27年 4月 1日
至 平成32年 3月31日

中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	3
(4)	伐採総量	4
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	6
3	林道の整備に関する事項	7
4	治山に関する事項	9
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	10
(1)	保護林の名称及び区域	10
(2)	緑の回廊の名称及び区域	16
6	レクリエーションの森の名称及び区域	17
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	28
8	その他必要な事項	28
(1)	施業指標林、試験地等	28
(2)	フィールドの提供	32
(3)	森林共同施業団地	33

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積 分散伐区 枝打	171.44	育成単層 林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となり、林齢、林相が異なる多様な森林で、枝打により材の付加価値を高めた林木からなる森林。	ヒノキ 50
	小面積 分散伐区	3,552.19	育成単層 林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ(旧飛騨川) 65 ヒノキ 75 カラマツ 60
(長期)	長伐期	10,173.95	育成単層 林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ(旧飛騨川) 130 ヒノキ 150 カラマツ 100

(単位：ha、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
複層型	人工林 複層伐	398.18	育成複層 林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林（一時的に単層状態になる場合も含む）。	スギ 80 [60] ヒノキ(旧飛騨川) 85 [65] ヒノキ 95 [75] カラマツ 80 [60]
	人工林 長伐期 複層伐	79.44	育成複層 林施業	木曽ヒノキの代替材を生産する人工林で、複層伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図り、複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	ヒノキ 180 [150]
漸伐 複層型	人工林漸 伐複層型	2,179.90	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為的あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	80 85
	天然林漸 伐複層型	5,007.67	育成複層 林施業		
択伐 複層型	人工林択 伐複層型	5,060.32	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	85 (35) N 200 (35) L 180 (25)
	天然林択 伐複層型	2,724.13	天然生林 施業		
その他		39.58	試験地等の設定目的による。		
施業群設定外		0.13			
合計		29,386.93			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[] は下木導入のための複層伐(更新伐採)の伐期齢である。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	上限伐採面積
小面積分散伐区枝打	17.14
小面積分散伐区	236.81
長伐期	339.13
人工林複層伐	46.84
人工林長伐期複層伐	4.41
漸伐複層型	179.68
択伐複層型	1,112.06

(注) 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林 地				林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	土砂流出崩壊防備		(1,606.53) 114,638	114,638			
	気象害防備						
	計		(1,606.53) 114,638	114,638			
自 然 維 持 タ イ プ			(17.03) 3,456	3,456			
森 林 空 間 利 用 タ イ プ			(192.12) 14,568	14,568			
快 適 環 境 形 成 タ イ プ							
水 源 涵 養 タ イ プ	小面積分散伐区枝打	6,545	1,777	8,322			
	小面積分散伐区	98,062	98,493	196,555			
	長 伐 期		202,644	202,644			
	人工林長伐期複層伐		4,013	4,013			
	人工林複層伐		5,824	5,824			
	人工林漸伐複層型		21,048	21,048			
	人工林択伐複層型		37,017	37,017			
	そ の 他		1,022	1,022			
	計	104,607	(4,753.59) 371,838	476,445			
合 計		104,607	(6,569.27) 504,500	609,107	70,893	680,000	680,000
年 平 均		20,921	(1,313.85) 100,900	121,821	14,179	136,000	136,000

注 () 書きは間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
高山市	104,607	413,713	518,320				
飛騨市		89,344	89,344				
白川村		1,443	1,443				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
人工 造林	単層林造成	3.52				180.39	183.91
	複層林造成						
	計	3.52				180.39	183.91
天然 更新	天然下種第1類	251.09		2.49		53.06	306.64
	天然下種第2類						
	計	251.09		2.49		53.06	306.64
合 計		254.61		2.49		233.45	490.55

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
保 育	下 刈	8.58				1,162.51	1,171.09
	つる切					3.55	3.55
	除 伐	159.43		0.69		961.68	1,121.80
	枝 打					33.51	33.51

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	箇所 (林班名)	延長	備考	
基幹	改良	鼠餅福地(鼠餅)	2117, 2123, 2124, 2127, 2216, 2217	7箇所	3,400	
		万波(上)	3175, 3184~3187	2箇所	500	
		計		9箇所	3,900	
その他	開設	杉谷	16	1箇所	1,000	
		鈍引沢	1284~1286	1箇所	1,400	
		前越谷	1226	1箇所	500	
		ウレ山谷(北)	2020, 2021	1箇所	3,000	
		森茂北ノ俣(材ノキ)支線	2017, 2018	1箇所	3,000	
		笠谷煙滝谷(上)	2140~2143	1箇所	1,000	
		舟原支線	3036, 3037, 3146	1箇所	2,200	
		舟原山	3144, 3151	1箇所	1,500	
		滝ヶ洞(小谷)	3152, 3153	1箇所	2,500	
		滝ヶ洞第三支線	3151~3153	1箇所	2,500	
		唐谷	3162	1箇所	1,500	
		山中山	4139, 4140	1箇所	2,200	
		一色第二	4142, 4143	1箇所	740	
		枯尾	1261~1263	1箇所	1,500	
	計		14箇所	24,540		
	改良	改良	白山第一支線	27	1箇所	100
			白山第二支線	29	1箇所	10
			せせらぎ	29, 30	1箇所	150
			竜ヶ峰	民地(併用区間)	1箇所	400
			小彦谷	40, 41	3箇所	1,500
小井戸第二支線			54	1箇所	150	
大樽			55	2箇所	1,000	
宮洞			51	1箇所	100	
老谷			1, 2	1箇所	100	
松谷第二支線			18	1箇所	100	
一ツ梨			22, 23, 25	4箇所	1,100	
樽谷			民地(併用区間)	1箇所	5	
東俣			2236	1箇所	388	
舟原支線			3146	2箇所	660	
三ノ谷			3086~3088	4箇所	1,750	
唐谷			3163, 3165	1箇所	300	
天生栗ヶ谷	3137~3139, 3157, 3159	1箇所	500			
トウゾウ	3117, 3119, 3120, 3122	6箇所	3,000			

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	箇 所 (林班名)	延 長	備 考
そ の 他	改 良	黒 内	3226	1箇所	20
		ソ バ カ	3179	1箇所	30
		中 ノ	3182	1箇所	40
		大 俣 谷	4154	2箇所	700
		計		38箇所	12,103
合 計	開 設			14箇所	24,540
	改 良			47箇所	16,003

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
荒谷②、荒谷⑤、大白川⑦、大白川⑫、御母衣④、蒲田川⑤、蒲田川⑩、蒲田川⑫、平湯川①、平湯川⑤、小鳥川下流①、小鳥川下流②、小鳥川下流③、小鳥川下流⑩、森茂川⑤、小鳥川上流⑥、小鳥川上流⑦、小鳥川上流⑧、小鳥川上流⑨、小鳥川上流⑬、宮川最上流①、宮川最上流②、宮川最上流③、馬瀬川上流⑤、野麦川⑥、日和田川⑤、川上川上流②、小鳥川上流①、小鳥川上流②	保全施設	溪間工	29
荒谷⑤、大白川⑦、大白川⑫、蒲田川④、平湯川③、平湯川⑤、小鳥川下流①、小鳥川下流③、小鳥川上流⑥、宮川最上流①、宮川最上流②、宮川最上流③、馬瀬川上流⑤、野麦川①、野麦川⑥、日和田川⑤、川上川上流②、小鳥川上流①、小鳥川上流②	保全施設	山腹工	19
荒谷②、荒谷⑤、大白川⑦、蒲田川④、平湯川⑤、小鳥川下流①、野麦川⑥	保全施設	その他	7
宮・庄川計画区管内の保安林区域内	保安林の整備	保安林改良	4,364.21
合 計	保全施設	溪間工	29
		山腹工	19
		その他	7
	保安林の整備	保安林改良	4,364.21

- (注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。
 2 位置は単位流域を表す。
 3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

名 称	新 設 既 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
白 山	既 設	7,764.00	4339～4358林班 4365ろ 4366～4371林班 4372ロ	ブナやダケカンバなどの原生的な天然林が広く分布しており、当該地を分布限界とする植物も多い。また、動物の種類も豊富である。	保存地区の森林については、原則として人為を加えずに自然の推移に委ねる。保全利用地区については、木材生産を目的とする森林施業は行わない。細部については、「白川森林生態系保護地域計画」により実施する。
		保存地区 3,034.84	4342い・ろ 4343ろ・に・ほ 4344ろ・は 4345は・に 4346は・に・ほ・へ 4351い・ロ・ハ 4352い・イ 4353ろ・に・イ・ロ 4354い・ろ・イ・ロ 4356ろ・に・イ・ロ 4357い・イ、4367い 4368い・ろ・イ 4369い・ろ・イ 4370い・ろ・は・イ・ロ		
		保全利用 地区 4,729.16	4339い・ろ・イ 4340い・ろ・イ 4341い・ろ・イ 4342は 4343い・は・へ・と 4344い・に 4345い・ろ 4346い・ろ・と・ち・り 4347い・イ 4348い・イ 4349い・ろ・イ 4350い・イ・ロ・ハ 4351ろ・イ 4352ろ 4353い・は・ほ・へ・と・ハ・ニ 4354は・に 4355い・ろ 4356い・は・ほ・ハ 4357ろ・ロ 4358い・ろ・は・に・ほ・イ 4365ろ 4366い・ろ・イ 4367ろ・イ・ロ 4370に・ハ 4371い・ろ・イ・ロ 4372ロ		
面 積 計		12,216.33			

イ 林木遺伝資源保存林

名 称	新 設 既 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
名古屋 ダケカンバ5	既 設	26.46	2189い	ダケカンバを主とする林分である。	原則として、伐採は行わない。 ただし、保存対象樹種の安定的な存続を図るために必要な場合は、枯損木、被害木の除去を中心とした弱度の択伐を行う。
名古屋 ヒノキ6	既 設	8.98	64ろ	天然生ヒノキが群生している。	
名古屋 アカマツ7	既 設	4.59	78ほ	天然生で成長・形質ともに優良なアカマツが群生している。	
名古屋 シラベ・アオモリト ドマツ・トウヒ・ コメツガ11	既 設	11.81	102に	シラベ、アオモリトドマツ、トウヒ及びコメツガ等が混成している林分である。	
名古屋 スギ12	既 設	10.68	4122ほ	当該地固有の希少品種である伏条性の強いムミスギが群生している。	
名古屋 ドロノキ13	既 設	6.58	4359ろ	ドロノキを主とする林分として一定のまとまりがあり、全国分布の西端に当たる。	
面 積 計		69.10			

ウ 植物群落保護林

名 称	新 設 既 設	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
万波ブナ林等	既 設	295.84	ブナを主とする林分であり、比較的低い標高に関わらずイワイチョウ、コバイケイソウ等の植生が分布している。	原則として人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行う。
天生高層湿原	既 設	7.15	高層湿原で、ホロムイソウ、ヒメシャクナゲ、ヤチスゲなどが分布している。	
山中山ミズバショウ	既 設	1.99	岐阜県内の南限に分布しているミズバショウの群落である。	
御岳オサバグサ	既 設	18.39	中部地方南西限に分布する貴重群落である。	
胡桃島ハイマツ等	既 設	2.16	亜高山樹林内に高山性植物が生育している。	
面 積 計		325.53		

エ 特定地理等保護林

名称	新設 既設	面積 (ha)	特徴等	施業等
乗鞍岳	既設	3,292.19	乗鞍岳山頂部に広がる火山群、カルデラ（湖沼）等の特徴ある地形・地質と亜高山帯から高山帯に分布する植生等により構成される生態系、景観等を保護する。	<p>原則として森林施業は行わない。</p> <p>なお、保安施設事業の実施に当たっては、自然景観に配慮した工種・工法を採用して行う。</p> <p>すでに乗鞍道路、集団施設地区などの整備が行われている区域であり、入り込み者の自然観察等の教育等の取り組みに配慮する。</p>
<p>宮・庄川 : 3,292.19</p> <p>中部山岳 : 1,605.84</p> <hr/> <p>計 4,898.03</p>				
御岳	既設	394.76	御嶽山の山頂に近い火口カルデラ、火口湖、噴気口など数多くの特徴を持った地形、地質とこれらの地形に起因する植生、希少種の生育地、亜高山帯から高山帯に分布する典型的な垂直森林帯等により構成される生態系、景観等を含めて保護する。	<p>特徴ある地形・地質が多く存する山頂周辺は原則として森林施業は行わないが、高層湿原群落や雪田植物群落、矮性低木群落等の植生についてはその保護に努める。</p> <p>高山帯から亜高山帯にかけて垂直分布が見られる樹林帯は、原則として人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行うこととする。</p> <p>なお、林分の状況によっては現状の維持に必要な森林施業を行うことができるものとする。</p> <p>保安施設事業の実施にあたっては、自然景観に配慮した工種・工法を採用し適切に行う。</p>
<p>宮・庄川 : 394.76</p> <p>飛騨川 : 1,539.99</p> <p>木曾谷 : 1,159.29</p> <hr/> <p>計 3,094.04</p>				
面積計		3,686.95		

オ 郷土の森

名 称	新 設 既 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
のりくら	既 設	614.86	100い～にイ 101い～とイ～ニ 114い～ハ 115い～チ 116いイ 117いイ	五色ヶ原地区は、乗鞍岳山麓に位置し、ブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹からシラベ、トウヒ等の亜高山樹種で構成され、地元住民が、古くから自然と共に暮らし守ってきたエリアであり、郷土の象徴として保護する。	原則として人為を加えずに自然の推移に委ねる。 具体的には、保護・管理・利用計画書により行うものとする。
面 積 計		614.86			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新 設 既設別	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林 小 班)	特 徴 等
白山山系 緑の回廊	既 設	70	16,936.40 (42,867.38)	4147～4151林班 4152い～つ 4153い～る 4154い～れ・ハ・ニ 4155～4163林班 4164い～リ・イ 4165～4166林班 4167い～ち 4168～4215林班 4324い～へ 4325林班 4326い～る 4327～4338林班 4359い・は～へ・イ・ロ 4360～4364林班 4365い・は・イ 4372い・イ 4373～4380林班	白山山系の国有林内に設定された白山森林生態系保護地域や犀川源流森林生物遺伝資源保存林（近畿中国森林管理局管内）等の保護林を連結し、野生動物の日常行動や季節移動等の経路をつくることにより、分断された個体の交流を促す等、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることを目的とする。 林況は、ブナ、ダケカンバ等の広葉樹の天然林が大半を占めている。 施業等については「白山山系緑の回廊設定方針」による。
			宮庄川森林計画区 : 16,936.40 庄川森林計画区 : 6,580.10 (中部森林管理局) 加賀森林計画区 : 18,012.41 越前森林計画区 : 1,338.47 (近畿中国森林管理局) <hr/> 計 42,867.38		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然休養林

名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
飛騨白山 白川郷	既 設	2,445.33	ゾーン区分別の 林小班一覧表の とおり	大部分が白山国立公園内に位置し、白水の滝と大白川溪谷及び周辺のブナを主体とする林分が優れた景観を呈しており、ハイキング、キャンプ、登山等に適している。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道 (岐阜県・白川村) ・ 温泉施設 (白川村) ・ 園地 (岐阜県) ・ 野営場 (白川村) ・ 休養林管理舎 (民間) 		

飛騨白山白川郷自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

ゾーン区分	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育ゾーン	731.56	4344い・に 4345い・ろ 4346い・ろ・と 4349い・ろ 4350い 4353は・へ 4354は・に 4355い・ろ	天然生 林施業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉施設 (白川村) ・ 歩道 (岐阜県) 		
		4350ハ 4353ニ	林地以 外			
森林スポーツゾーン	125.99	4351ろ 4352ろ 4353い・ほ・と	天然生 林施業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園地 (岐阜県) ・ 野営場 (白川村) 		
		4351イ 4353ハ	林地以 外			

ゾーン区分	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
風景ゾーン	1,587.78	4334は 4335ろ	育成複 層林施 業			
		4334い・ろ・に・ほ 4335い・は・に 4336い・ぬ 4356い・は・ほ 4357ろ、4358い～ほ 4359い・は～へ 4360い・ろ	天然生 林施業			
		4356ハ 4357ロ 4358イ 4359イ・ロ	林地以 外			

名称	既設・ 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考				
御 岳	既 設	1,664.06	ゾーン区分別の 林小班一覧表の とおり	御岳山の裾野に位置し、亜高山樹種の天然林とカラマツの人工林などからなる森林で、登山、ハイキング、キャンプ、スキー、自然探勝等自然休養の場に適した地域である。 また、ヒューマン・グリーン・プランの指定区域であり、第三セクターにより、整備が進められている。 ○1194、1198、1241はへ、1248、1250い～ほ・ちり林小班は保健機能森林に該当		<ul style="list-style-type: none"> ・ スキー場 (民間) ・ あずま屋 (民間) ・ 歩道 (国・高山市) ・ 宿泊施設 (高山市) ・ 野営場 (高山市) ・ 胡桃島キャンプ場展望デッキ (高山市) ・ 胡桃大滝展望デッキ (国) 						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>宮・庄川 : 1,664.06</td> </tr> <tr> <td>飛騨川 : 598.71</td> </tr> <tr> <td>計 : 2,262.77</td> </tr> </table>	宮・庄川 : 1,664.06	飛騨川 : 598.71	計 : 2,262.77							
宮・庄川 : 1,664.06												
飛騨川 : 598.71												
計 : 2,262.77												

御岳自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

ゾーン区分	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
自然観察教育	139.37	1248はほへち 1250ろにち	育成複 層林施 業			
		1195ろ、1241はへ 1248いろにとり 1250いはほり	天然生 林施業			
森林スポーツゾーン	142.00	1194いほちれ 1198いろに	育成複 層林施 業			
		1194にりた 1198は	天然生 林施業			
野外スポーツゾーン	1,382.69	1187ろほと 1188ろたね 1189ろとぬか 1190ろほとちたれ 1191いとわた 1192はほと 1195いとちかれそねあめし 1197ろへ 1199い 1200いろにへちぬかつむの くまふえて 1201いはち 1202いろに 1237ろは 1238いろにと 1239いろにへちわ 1241いろほとち 1242いはぬ 1246ろはほちぬわか 1247いにかそ 1251いほちぬか 1253いろにへちる 1254いは	育成複 層林施 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキー場 (民間) ・ あずま屋 (民間) ・ 歩道 (国・高山市) ・ 野営場 (高山市) ・ 宿泊施設 (高山市) 		

ゾーン区分	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
野外スポーツゾーン のつづき		1186い・は～ほ、1187い・へち～ぬ 1188いれ～つ 1189いちり・よた 1190へり・よ 1191ろ・は・ほ・へか・よれ 1192に・へ 1195は・ほ・へり～わ・よた・つ・さ～ゆ 1196い・は・へ～わ、1197い 1200は・と・る・わ・ね～ら・おこ 1201ろ、1202は、1237い 1238は・ち～た、1239は・と 1241に、1242ろ・に～り・る 1243い～ほ・ぬ・る 1244い・に・ほ、1245い 1246い・に・へ・と・り・る 1247ろ・は・へ～る・か～た 1250へ・と、1251に・ほ・と・り 1252い、1253は・と 1254に～へ	天然生 林施業			
		1186ロ、1187イ・ロ、1190イ 1191イ・ロ、1192イ、1195イ・ロ 1196ロ・ハ・コ 1197イ、1200イ～ホ 1238イ、1243ロ、1244ロ 1253イ・ロ	林地以 外			

自然休養林面積再掲

名称	既設・ 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
飛騨白山白川郷 御 岳	既 設 既 設	2,445.33 1,664.06						
面 積 計		4,109.39						

名称	既設・ 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
舟 山	既 設	29.18	1297ちり 1298り 1299ぬる 1300た	位山舟山県立自然公園内にあり、船山山頂付近では矮生化したモミ、ダケカンバ等の中に、ドウダンツツジの老木が点在している。 北アルプスの眺望にも優れ、自然観察に適している。	天然生 林施業	・ 歩道 (高山市) ・ 休憩所 (高山市) ・ 駐車場 (高山市)		
宮	既 設	27.95	69は～ほわ 70とち、74にほ 75は 78はとわから 79そ ----- 78へ	宮川防災ダム周辺と溪流沿いの、ヒノキ、アカマツ、イチイ等の天然林と人工林ヒノキ等がおりなす自然環境にある。 アルプスの眺望にも優れ、自然観察に適している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業	・ 歩道 (国)		
面 積 計		552.19						

(3) 野外スポーツ地域

名称	既設・ 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
数 河 流 葉	既 設	123.99	3220ほへ 3223ろはほへ ちよれ ----- 3220と 3223いにとり～かた ----- 3220イ 3223イ・ロ	スギ・カラマツの人工林とブナ等の天然林で、ハイキングや自然探勝の場として適している。スキー場が開設され利用されている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (飛騨市) ・ スキー場 (飛騨市) ・ 駐車場 (飛騨市)		
鈴 蘭 高 原	既 設	122.81	1294い・ろ・へ～る 1295い ----- 1294イ 1295イ	北アルプス連峰の眺望は雄大であり、野外スポーツの場として適している。	育成複層林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (民間)		
面 積 計		246.80						

(4) 風景林

名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
双六溪谷	既設	669.30	2036ほ、2039に 2044は 2075に～と 2079へ・ぬ・よ 2109は・ほ、2110ち 2117はに ----- 2035は、2036へ・ぬ 2039は 2040は・ぬる 2041ろ、2042に 2043ろ、2044に 2045はに 2074はに 2075ち～ぬ 2076に、2077へ・と 2078ほ・へ 2079る・わ 2100林班 2101ち、2108ほ 2109へ、2110と 2111いろ 2112いは・ほ・へ 2113い、2114い 2115い、2116い 2117い	急峻な山肌を覆うヒメコマツ・コマツガ・クロベ等の針葉樹やブナ・ミズナラ・カエデ等の広葉樹が混交する天然林が見事な溪谷美を呈している。溪流沿いには、キャンプ場が整備されており、近景林として適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業			
池ヶ原	既設	6.39	3214ぬ～わつ	隣接する民有地の池ヶ原湿原には、ミズバショウ・リュウキンカ等の湿性植物が群生しており、この湿原の背景林として適している。	育成複層林施業			
西ウレ峠	既設	28.18	36とぬ～よつ	せせらぎ溪谷県立自然公園内にあり、ヒノキ・スギ・カラマツの人工林からなり、林内をとおり「せせらぎ街道」の背景林として適している。	育成複層林施業			

名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
馬狩	既設	472.37	4375い 4376いろ ----- 4375イ・ハホ 4376イ	白山国立公園内にあり、ブナを主体とした天然林が、白山スーパー林道の背景林として適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・歩道 (国・岐阜県) ・園地 (岐阜県) ・車道 (岐阜県)		
大瀬戸	既設	276.91	4304ちた〜つ 4305に〜とつなら やけ〜こて 4306いへ〜ちるつむ 〜のくけこ 4307ろは ----- 4304はね 4305りわ 4306にほわれやまふ 4307いにと ----- 4304イチ	新緑から紅葉にかけての森林景観、滝のある渓谷美は、国道の背景林として適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・石碑 (白川村)		
大日岳	既設	407.94	4165た・れ ----- 4165へつ 4170りる、4174は 4175は、4177は 4178ろは、4179は ----- 4170イ、4174イ 4175イ、4177イ 4178イ、4179イ 4183イ、4184イ 4188イ、4189イ 4190イ	大部分が白山国立公園内に位置し、ブナ・ミズナラ等からなる天然林は、大日ケ岳への登山道、白山への縦走路の近景林として適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・歩道 (国)		

名称	既設・ 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
野 麦	既 設	55.49	1141は ----- 1137ろ 1140ろ 1141に 1142ろ 1143ろ	野麦峠の周辺に位置し、コメツガ、シラベ等亜高山樹種の天然林からなり、県道の背景林として適している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業			
面 積 計		1,916.58						

(5) 風致探勝林

名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
穂 高	既 設	323.04	2172に・ほ・よ 2173ろ～へ 2181ほ・へ・ち・ぬ ----- 2166ろ～に 2168ろ・に～と 2169は～と 2171は・に 2172ろ・は・へ～ぬ・ わ・か・そ～な 2181い～に・と・り・る ～た ----- 2172イ 2181イ・ロ	中部山岳国立公園内にあり、北アルプスの岐阜県側登山口となっている。ブナを主体とする林分が優れた自然景観を呈しており、ハイキング等自然探勝に適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・園地 (民間・岐阜県) ・野営場 (民間) ・宿舎 (民間) ・避難小屋 (国) ・温泉施設 (民間)		
平 湯	既 設	41.34	2195は・り ----- 2195と・ち・る 2196は～ほ	中部山岳国立公園内にあり、平湯温泉の後背林で針広混交した天然林となっている。林内には巨樹・巨木の「平湯大ネズコ」や、多様な樹種からなる森林で、自然探勝の場として適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業	・歩道 (国)		
面 積 計		364.38						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等
該当無し

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施業指標林	間伐推進施業指標林	S 61年度	2.23	1232へ	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標になる林分である。
		S 16年度	0.96	2220ほ	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標とする林分である。
	広葉樹施業指標林	H 4年度	11.33	3002ち	壮齢広葉樹林において密度調整等の保育管理を実施して、有用広葉樹施業の指標とする林分である。
		H 4年度	9.22	11り	
		H 4年度	1.98	1138か内	
	前更皆伐天然下種更新施業指標林	S 61年度	5.92	1138か	伐採前に後継樹を発生・生育させることにより、更新を確実にするための指標になる林分である。
		S 59年度	8.73	3170に 3137り	
		S 59年度	7.08	4186ね	
	ブナ地帯天然更新施業指標林	S 51年度	3.75	3175う・の	ブナ地帯における天然更新技術の確立に向けて、収穫から更新に至る技術体系の検証等の指標とする林分である。
		S 51年度	0.19	3175く	
		S 49年度	6.84	4184に	
	亜高山地帯天然更新施業指標林	S 50年度	19.38	1179ほ～ぬ 1180ち～る	亜高山地帯針葉樹林（ササ型林床）における天然更新の確立に向けて、収穫から更新に至る施業の指標になる林分である。

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	福地スギ人工林収穫 試験地	S 14年度	2.56	2201と	成長量、収穫量、その他の 資料を収集し林分構造の 推移を解明する。
	大谷スギ人工林収穫 試験地	S 43年度	0.53	3069ろ	
	一ツ梨ヒノキ人工林 収穫試験地	S 42年度	1.05	23は	
	一ツ梨カラマツ人工 林収穫試験地	S 42年度	1.52	23に	
	ブナ二次林成長量調 査	H 3年度	1.50	3170ろ 3172れ	天然更新したブナ林の成長 量を調査し、施業の参考とす る。
	大日ブナ天然生林林 分成長量固定調査地	S 28年度	1.76	4172と	天然林における成長量、枯 損量等の資料を収集し、林分 構造の推移を解明する。
	大白川ブナ天然更新 試験地	S 45年度	48.20	4336ろ	ブナの天然更新について更 新状況の追跡調査を行い施業 の参考とする。
次代検定林	関名第7号	S 52年度	1.54	15と内	精英樹クローンの交配種子 を用いて養成した苗木を植栽 し、精英樹の遺伝的素質を検 定するための林分である。
	関名第9号	S 52年度	0.57	50は内	
	関名第21号	S 56年度	0.57	88り内	精英樹選抜による育種効果 を十分に発揮させるため、現 在の育種区を見直して行くこ とを検定するための林分であ る。
	関名第25号	S 63年度	0.53	4118ろ内	精英樹相互間の人工交配に よって得る交配家系の生育結 果から、各形質の遺伝様式を 検定するための林分である。
	関名第19号	S 55年度	1.08	1178た	精英樹クローンの交配種子 を用いて養成した苗木を植栽 し、精英樹の遺伝的素質を検 定するための林分である。

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
遺伝子保存 林	カラマツ	S 46年度	0.48	3012は	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し、遺伝子補給源として活用する林分である。
	スギ	S 53年度	2.00	3041り	
	スギ	S 53年度	2.40	3225お	
	ヒノキ	S 44年度	2.00	67か	
	アカマツ	S 47年度	2.02	83は	
	カラマツ	S 41年度	2.34	4139よ	
	カラマツ	S 42年度	2.35	4138り	
	スギ	S 46年度	2.00	4104む	
	シラカンバ	S 39年度	7.79	1230い	
	カラマツ	S 46年度	3.00	1170ほ	
精英樹保護 林	スギ古川1号	S 33年度	0.25	3010へ	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護・保存するための林分である。
	スギ古川4号	S 41年度	0.28	3214る	
	スギ古川5号	S 41年度	0.27	3214っ	
	スギ古川6号	S 41年度	0.20	3214わ	
巨樹・巨木	平湯の大ネズコ	H 12年度	(0.94)	2195と内	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」により選定された、巨樹・巨木である。 () 書きは、該当する林小班的面積。
	宮の大イチイ	H 12年度	(8.98)	64ろ内	
	荘川のヒメコマツ	H 12年度	(0.76)	4123や内	
	荘川のヒノキ	H 12年度			
森林施業モデル林	水源涵養タイプモデル林	H 12年度	5.73	61り	公益的機能重視の森林施業の取り組みを国民に分かりやすくアピールするモデル林である。

種 類	名 称	設定年	延 長 (m)	位 置 (林小班)	備 考
溪畔保全プロジェクト林	秋神川	H 26年度	6,858	1231ほ 1232へ・と・わ～れ 1233に・れ・つ・の お～ま 1234か・ね 1235に・つ・ら 1236ほ・そ・つ 1239へ・り～わ 1240ほ・る・た～な 1241と・ち 1255は～ほ 1256ぬ～か・た～ そ・む 1257へ・ぬ	

(2) フィールドの提供

ア 遊々の森

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
つながる遊学の森 (平成15年度設定)	9.59	2172に・る・か 2195は・に・と・ち	協定相手方：栃尾小学校 協定期間：平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的 国有林の豊かな森林環境 を子供たちに提供して、 様々な自然体験や自然学 習を進めていくため、地 元小学校と協定を締結 し、「遊々の森」を設 定。
源 流 の 森 (平成20年度設定)	124.82	56ろ・は、61り、65に・く・い・ロ 69はに・ほ・わ、70と・ち、74に・ほ 75は、78は・へ・と・わ・か・ら、79そ	協定相手方：高山市長 協定期間：平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的 国有林を体験林業、自然 観察等の多様な体験の場 として活用を図るため設 定。
計	134.41		

イ 多様な活動の森

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
山のフィールドミュ ージアム (平成16年度設定)	136.26	2179い・は・と 2185に、2186ろ 2189イ、2191は・に	協定相手方：特定非営利活動法人 山の自然文化研究セン ター 協定期間：平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的 体験林業、自然観察会、 自然観察道の整備を通じ 森林学習等の推進に資す るため設定。
計	136.26		

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 班)		面積 (ha)	連携した施業 の 内 容	備 考
高山市一色・山中山地域	民	158～185林班	1,135	森林整備・路網の連携、中間土場の共同活用等	
	国	4136～4146林班	1,594		
計			2,729		